



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 株式会社 太平製作所
 コード番号 6342 URL <http://www.taihei-ss.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 武
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 桂山 哲夫
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
 TEL 0568-73-6411

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	4,638	19.5	472	53.5	483	52.0	324	45.6
29年3月期第3四半期	3,881	32.5	307	30.8	318	29.1	222	15.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 340百万円 (39.8%) 29年3月期第3四半期 243百万円 (5.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	241.86	
29年3月期第3四半期	166.09	

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	8,236	4,141	50.3
29年3月期	7,428	3,867	52.1

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 4,141百万円 29年3月期 3,867百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		5.00	5.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は5円となり、1株当たり年間配当金は5円となります。詳細につきましては「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,700	5.7	590	15.4	630	12.0	405	19.6	301.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	1,500,000 株	29年3月期	1,500,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	158,059 株	29年3月期	157,952 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	1,342,006 株	29年3月期3Q	1,342,358 株
----------	-------------	----------	-------------

(注)平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、今後の様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

(株式併合後の配当及び連結業績予想について)

当社は、平成29年6月23日開催の第130回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当金 期末 5円00銭

2. 平成30年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期 30円17銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善により、引き続き緩やかな回復が続いております。また、海外においてもアメリカ経済が堅調に推移し、中国・アジア新興国の景況感に持ち直しが見られるなど総じて回復基調で推移いたしました。中東や北朝鮮情勢を巡る警戒感の高まりなど、海外動向の不透明感は依然として強い状況であります。

当社を取り巻く事業環境は、企業収益の改善や各種設備投資政策の影響もあり、企業の設備投資意欲が上向きつつありましたが、各種設備投資政策効果が一巡したことや、住宅着工戸数が減少したことにより、設備投資に対する慎重姿勢が強まっております。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の当社グループの状況は、住宅着工戸数が減少したことにより木工機械事業及び住宅建材事業において厳しい状況で推移いたしました。合板機械事業において開発機械の市場投入を急ぐとともに積極的な営業活動に注力してきたことから、受注が好調に推移いたしました。また、輸出機械において同機種を継続的に受注できていることによる、製作効率の向上及びスケールメリットを活かした原価管理に注力いたしました。これらの結果、売上高は4,638百万円（前年同四半期比19.5%増）となりました。

利益につきましては、営業利益は472百万円（前年同四半期比53.5%増）、経常利益は483百万円（前年同四半期比52.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は324百万円（前年同四半期比45.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①合板機械事業

合板機械事業は、開発機械の市場投入を急ぐとともに積極的な営業活動に注力してきたことから、受注が好調に推移したこと、輸出機械において同機種を継続的に受注できていることによる、製作効率の向上及びスケールメリットを活かした原価管理に注力したことなどにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,834百万円（前年同四半期比34.8%増）、営業利益は406百万円（前年同四半期比81.4%増）となりました。

②木工機械事業

木工機械事業は、住宅着工戸数が減少したことにより売上が伸び悩んだこと、開発要素の強い機械が多くあったことなどから原価率が上昇いたしました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,051百万円（前年同四半期比1.2%増）、営業利益は167百万円（前年同四半期比4.8%減）となりました。

③住宅建材事業

住宅建材事業は、住宅着工戸数が減少したことにより、受注価格競争が一段と厳しさを増しております。

販路を拡大するなど、積極的な営業活動に注力すると共に製造工程の効率化に取り組み、売上に関しては前年同水準となりましたが、原材料価格が高止まりしている影響から減益となりました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は751百万円（前年同四半期比1.5%増）、営業利益につきましては、19百万円（前年同四半期比14.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて15.7%増加し、6,258百万円となりました。これは主に、現金及び預金が846百万円増加、仕掛品が325百万円増加、受取手形及び売掛金が490百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.1%減少し、1,978百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による増加を、減価償却による減少が上回ったことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて10.9%増加し、8,236百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて17.8%増加し、3,703百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が211百万円増加、前受金が556百万円増加、未払法人税等が160百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6.1%減少し、391百万円となりました。これは主に、固定負債のその他に含まれておりますリース債務が36百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて15.0%増加し、4,095百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて7.1%増加し、4,141百万円となりました。これは主に、利益剰余金が257百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日の決算短信で公表いたしました平成30年3月期の連結業績予想に変更はありません。

なお、連結業績予想につきましては、当社グループが現時点において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,325,634	3,171,786
受取手形及び売掛金	1,727,943	1,237,434
製品	58,613	24,711
仕掛品	1,010,765	1,336,507
原材料及び貯蔵品	205,984	258,319
その他	85,931	236,876
貸倒引当金	△7,762	△7,229
流動資産合計	5,407,111	6,258,405
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	627,549	599,936
土地	689,746	689,746
その他（純額）	224,028	208,501
有形固定資産合計	1,541,323	1,498,184
無形固定資産	43,420	31,197
投資その他の資産		
その他	443,792	453,010
貸倒引当金	△7,433	△4,212
投資その他の資産合計	436,358	448,798
固定資産合計	2,021,102	1,978,181
資産合計	7,428,214	8,236,586
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,298,025	1,509,621
短期借入金	650,000	650,000
未払法人税等	180,175	19,845
前受金	704,241	1,260,899
賞与引当金	98,590	50,291
役員賞与引当金	33,900	25,650
その他	178,765	187,508
流動負債合計	3,143,698	3,703,816
固定負債		
繰延税金負債	51,846	52,718
役員退職慰労引当金	14,955	16,373
退職給付に係る負債	210,879	223,030
その他	139,021	99,228
固定負債合計	416,701	391,351
負債合計	3,560,400	4,095,167

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	77,201	77,201
利益剰余金	3,212,276	3,469,762
自己株式	△206,578	△206,857
株主資本合計	3,832,899	4,090,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,914	51,312
その他の包括利益累計額合計	34,914	51,312
純資産合計	3,867,814	4,141,419
負債純資産合計	7,428,214	8,236,586

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	3,881,635	4,638,141
売上原価	2,937,247	3,457,158
売上総利益	944,388	1,180,982
販売費及び一般管理費	636,693	708,666
営業利益	307,695	472,316
営業外収益		
受取利息	372	84
受取配当金	3,423	3,536
鉄屑売却収入	1,098	1,850
保険解約返戻金	5,816	5,585
その他	4,012	3,729
営業外収益合計	14,722	14,787
営業外費用		
支払利息	4,308	3,693
その他	68	51
営業外費用合計	4,376	3,744
経常利益	318,040	483,358
特別利益		
固定資産売却益	443	247
特別利益合計	443	247
特別損失		
投資有価証券評価損	10,825	—
特別損失合計	10,825	—
税金等調整前四半期純利益	307,659	483,606
法人税、住民税及び事業税	94,993	134,241
法人税等調整額	△10,298	24,776
法人税等合計	84,695	159,017
四半期純利益	222,963	324,588
親会社株主に帰属する四半期純利益	222,963	324,588

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	222,963	324,588
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,003	16,397
その他の包括利益合計	21,003	16,397
四半期包括利益	243,967	340,986
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	243,967	340,986

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	2,102,264	1,039,022	740,348	3,881,635
セグメント間の内部売上高又は振替高	10	—	—	10
計	2,102,275	1,039,022	740,348	3,881,646
セグメント利益	224,119	176,212	22,781	423,113

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	423,113
未実現利益の消去	314
全社費用（注）	△115,733
四半期連結損益計算書の営業利益	307,695

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	2,834,882	1,051,882	751,375	4,638,141
セグメント間の内部売上高及び振替高	—	—	—	—
計	2,834,882	1,051,882	751,375	4,638,141
セグメント利益	406,602	167,811	19,444	593,858

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	593,858
未実現利益の消去	264
全社費用（注）	△121,806
四半期連結損益計算書の営業利益	472,316

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。